

としょかん だより

2025.12 No.214



不動技研ながさき市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1
TEL 095-829-4946
FAX 095-829-4948
ホームページ
<https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

ホームページ

公式LINE

電子図書館



Topic

■休館のお知らせ

蔵書点検のため：12月11日(木)～12月16日(火)

年末年始のため：12月29日(月)～2026年1月4日(日)

休館に伴い、11月27日(木)～12月28日(日)は、貸出期間が3週間になります。(通常は2週間)

※香焼図書館、各公民館等図書室の休館・休室につきましては、各施設へおたずねください。

Information

図書展示

- 1階特集展示 映像の進化
- 2階特集展示 昭和100年！昭和の出来事・人々の暮らし
- 特別展示 姉妹都市提携70周年記念イベント連動
「セントポール市ゆかりの品々」(～12/25)
冬の音、冬の物語(12/17～)
- YA特集展示 こころのふしぎ
- 投稿展示 お気に入りの歌詞フレーズ
- 児童特集展示 冬とあそぼう
- ミニ展示 干支・年こしのおはなし
- 特別展示 姉妹都市提携70周年記念イベント連動
「本で学ぼう！姉妹都市セントポール」(～12/8)



寄贈紹介

富永児童文庫

故富永和徳様は、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり・社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和56年度から平成24年度までの32年間にわたり、毎年児童図書を寄贈されました。

平成25年度からはご子息の富永和照様のご遺志を引き継がれ、今年度も47冊(10万円相当)の図書を寄贈されました。これまでにいただいた図書は7,745冊になります。



長崎しにせ会文庫

長崎市で創業100年以上の老舗により構成される長崎しにせ会様は、平成21年3月に創立50周年記念事業の一つとして、多くの人に幅広く世界に通用する大きな器の人間をめざし、物事の本質を考え抜く人間になっていただきたいという趣旨で、歴史や古典など仕事に役立つ図書296冊(150万円相当)で文庫を創設されました。

その後も寄贈を続けられ、今年度は23冊(5万円相当)の図書をいただき、寄贈の累計は図書910冊DVD12点になりました。



開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページ・SNS・館内ポスターをご確認ください。
としょかんだよりの最新号・バックナンバーは図書館ホームページからもご覧いただけます。

BOOKS：昭和100年

激動の「昭和」から「平成」「令和」へ続く100年間を振り返ります。



くらべる時代

昭和と平成

おかべ たかし/文
山出 高士/写真
東京書籍
210.76オ(2階フロア)

オムライスや携帯電話、信号など34組の身近なものを「昭和」と「平成」でくらべてみれば……。見開きの左右に「昭和のもの」と「平成のもの」の写真が並び、ページをめくるとそれにまつわる解説を読むことができる。懐かしさとともに、変化や違いを楽しめる1冊。



流行歌で振り返る 昭和100年

歌は世につれ

合田 道人/著
笠間書院
H767.8ゴ(1階趣味娯楽)

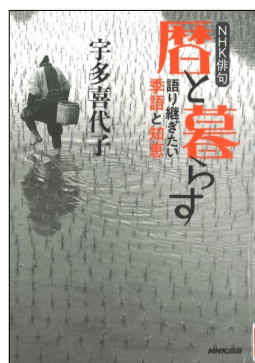
レコードやテレビに熱狂した時代、バブルの喧騒、J-POPへの転換、そして配信の時代へ……。戦争や震災を乗り越え、経済の浮き沈みを経験した日本の歩みを流行歌とともにたどる。



昭和歳時記

吉村 昭/著
中央公論新社
B914.6ヨシ(1階文庫)

昭和2年生まれの著者が、幼少期に過ごした東京下町の情景や戦争体験などを振り返る。時代の流れとともに姿を消していった物干台や蚊帳、銭湯など、当時の様子を生き生きと語る随筆集。

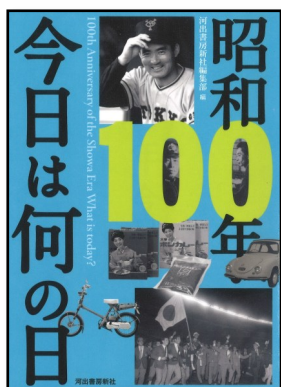


暦と暮らす

語り継ぎたい季語と知恵

宇多 喜代子/著
NHK出版
911.3ウ(2階フロア)

「ゆたかなことば」で表現した俳句から感じる、春夏秋冬の暦とともにある昭和の暮らし。季節の移ろい、自然への心情、丁寧に暮らす工夫や知恵を、数々の俳句から読み解いていく。



昭和100年今日は何の日

河出書房新社編集部/編
河出書房新社
210.7シ(2階フロア)

昭和元年から令和7年(昭和100年)まで「その日」に起きた出来事は？
例えば12月1日は初の年賀用郵便切手を発行した日(昭和10年)であり、気圧の表示をヘクトパスカルに変更した日(平成4年)。
昭和から続く100年間の歴史を紐解いてみては。



住まいの昭和図鑑

昭和レトロ住宅のゆたかな暮らし

小泉 和子/編著 小野 吉彦/写真
エクスナレッジ
K527コ(1階暮らし)

住宅の間取りには、何を大切に生活するのかという時代ごとの価値観が反映されている。昭和は建築家が市民住宅に真剣に取り組み、人間味あふれるバラエティ豊かな住宅が盛んに建てられた時代。懐かしくも美しい昭和レトロ住宅をカラー写真で紹介する。